

ここは街の
喫茶店

ねえ
資産運用
してる？

え、
してない
けど…

しんぞん…

いやく
全然

看護師は体力
勝負だし…

毎月3万円を
貯金してるけど
数年後も元気で
働いてる保証はないし
資産運用を考えてるん
だよ

うーん

確かに、定期貯金と
普通預金だけじゃ不安だね
でも資産運用って
難しいんじゃない？

では、資産運用の
基本について
教えましょうか？

は、はい♡

みなさんが
やっている預貯金は
0.001%と
超低金利って
知ってますか？

そうなんですか？
でも、低金利って
言われてもイマイチ
わからないかも

では72の法則を
使って確認して
みましょう！

72

72の
法則？

？

普通預金金利0.001%を
72の法則にあてはめてみると
72÷0.001%≒72000年

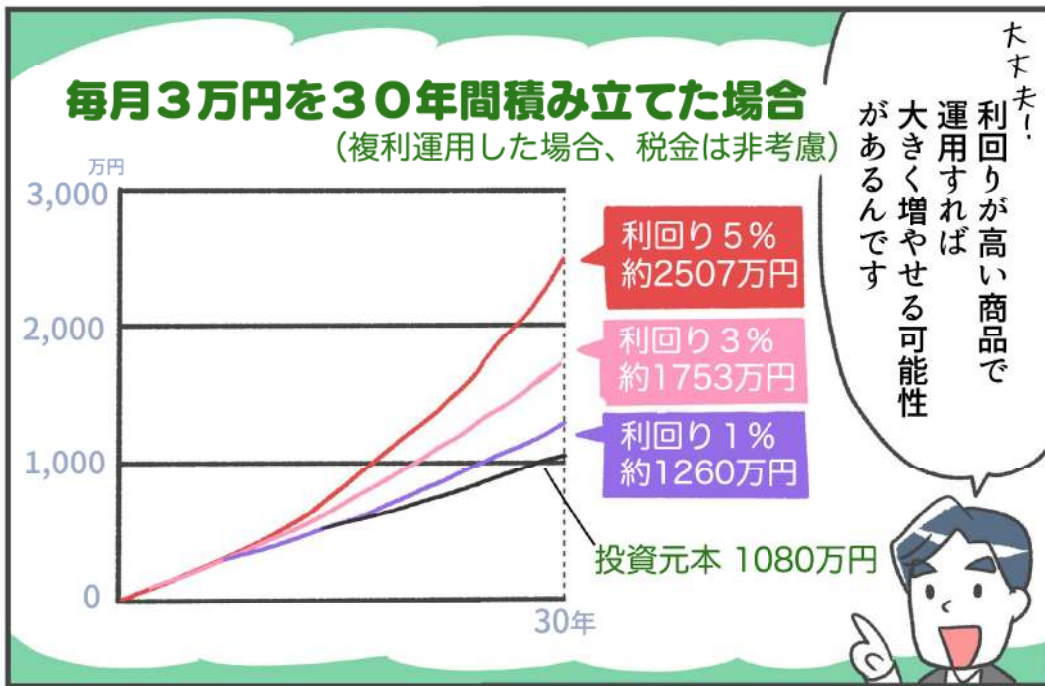
つまり
100万円を
200万円にするのに
なんと72000年も
かかってしまうことにな
るんです!

72の法則を使えば
これがわかります

① 貯蓄が2倍になるまでに
何年かかるか

② 年利何%で運用すれば、
貯蓄が2倍になるまでに
何年かかるか

なるほど



な、72000年!?

このままだと
一向にお金は
増えないよ!

安全資産
・ 預貯金や国債

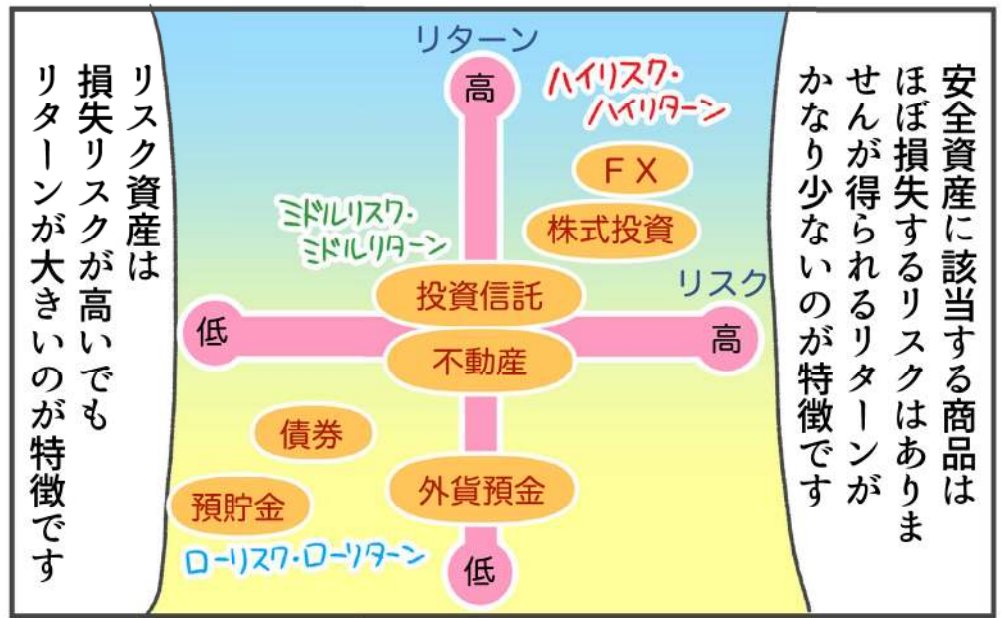
リスク資産
・ 国内の株式
・ 投資信託
・ FX
など

安全資産とリスク資産?

資産運用の対象になる商品は
いろいろありますが
「安全資産」と「リスク資産」で
大きく2つに分かれます

でも
いざ資産運用するとしても
どの商品がいいのかわから
ないよね…

うんうん…



複利は元本に利息を組み入れて運用するため複利で運用できる商品を選ぶことが大切です

毎月3万円を金利3%で複利運用した場合

元本 360万円	→	10年後	419.2万!	(59.2万UP)
元本 720万円	→	20年後	984.9万!	(264.9万UP)
元本 1080万円	→	30年後	1748.2万!	(668.2万UP)

①長期視点を持ち「複利効果を!」「長期投資」

資産運用は安定的に増やせる**3つの基本**「長期」「積立」「分散投資」が大切です

複利効果を活用すればお金の貯まるスピードは増す!

購入時の基準価額が安ければ口数を多く、高ければ口数を少なく買い付けることで平均購入単価を下げる効果※を出し価格が上昇した時に利益が出やすいんですよ



「複利」を味方につけるってことですね!

②忙しい人向け「積立投資」

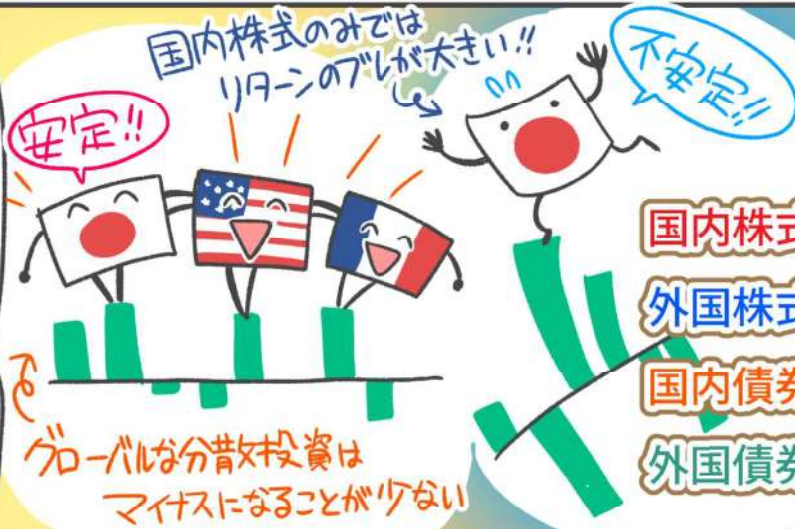
毎月決められた日に一定の金額を買い付けていく方法です

※ドル・コスト平均法...一度積立の設定をすればあとは放ったらかしでOK

③資産運用の王道
「分散投資」

分散投資をするときの
基本は4資産です

- 国内株式
- 外国株式
- 国内債券
- 外国債券



分散ポイントの違う商品に
投資をして全滅のリスクを
回避する方法です
国内外の株式と債券に
分散投資をしておくことが
大切です

国内株式のみでは
リターンが大きい!!
グローバルな分散投資は
マイナストになることが少ない

資産運用に
ついてわかって
きたけど
ちやんと
できるかな...



長期、積立、分散投資の
仕組みを兼ね備えている
商品が「投資信託」です

おまかせ!

投資信託は
お金運用のプロが
投資方針に沿って
国内外の株式、債券
などに投資して
くれる商品です

ひとつの商品で数十から
数百の商品に投資しているの
で簡単に分散投資ができます

また、100円、1000円と
いった少額で買える※ので、
積立投資にも向いていますよ

これを長期継続していけば
長期投資もできるとい
うわけです

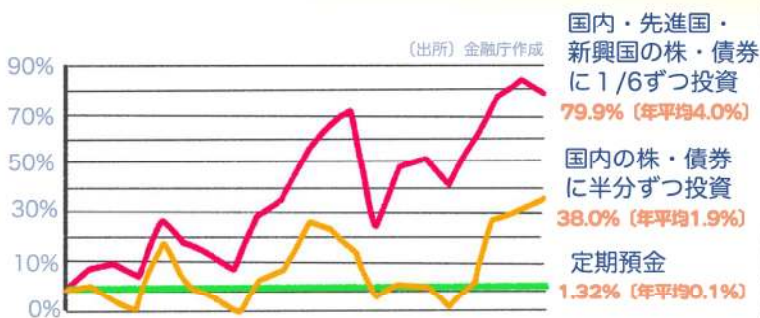
※金融機関によります。

資産運用のプロ
ファンドマネージャー

投資する人

※金融機関によります。

積立・分散投資の効果 (実績)



金融庁は、過去20年間(1995~2015年)の長期・積立・分散投資の結果平均年4%のリターンが得られる※と試算しています

長期、積立、分散投資を実践することで
今よりお金を増やせる可能性があるって
ことですね!



※必ず4%増やせるというものではありません

未来の
わたしのために
資産運用します!!



投資は大きく値下がりする可能性があるからこそ、 「長期、積立、分散投資」を心がける！

貯蓄と投資の大きな違いは、貯蓄が元本保証なのに対して、投資は元本保証がないところです。投資は大きく増やせる可能性がある一方、大きく減ってしまう可能性もあります。

投資に興味はあるけれど、なかなか1歩を踏み出すことができないという方のほとんどは、元本割れをして大きくお金が減ってしまうかもしれないという恐怖があるのではないのでしょうか。

実際、長い間投資をしていると、リーマンショックやコロナショック、ウクライナショックなど、世界的に危機が訪れ、株式市場が大きく暴落するという局面がほぼ間違いなくやってきます。このような危機が訪れた時に慌てないためには、冊子で解説したお金を中長期的に安定的に増やす3つのポイント「長期・積立・分散投資」を理解しておくことが大切です。

下図はリーマンショックが起こった2008年9月から2022年2月まで、米国の代表的な株価指数S&P500に毎月1万円を積み立てた場合の推移です。リーマンショックでは、米国の投資銀行が破たんした影響が世界中に飛び火し、株価下落や経済危機を引き起こしました。しかし、そんなときから月1万円ずつ積立投資をしていたとしても、2022年2月末時点で積立元本は162万円に対し、資産総額は479万円になっている計算。実に3倍程度に増えているのです。○をつけたところがコロナショックの影響のある2020年3月で、確かに資産総額は一時的に減っていますが、それでもすでに積立元本より多い状態となっています。しかもその後、資産総額はさらに大きく増えています。

とはいえ、投資に絶対はありません。投資の格言に「命金には手をつけるな」というものがあります。日々の生活費まで投資してしまうと、お金が減ったときに生活が立ちいかなくなる、という意味です。ですから、最低でも6カ月分の生活費を確保しましょう。そこからさらに、当面使うことのない余裕資金を貯めて、投資に回すのが基本です。

ファイナンシャルプランナー 高山一恵

▼ リーマンショックからS&P500に月1万円投資（2008年9月～2022年2月）

